



Japan Foundation for
Regional Art-Activities

平成27年度 公共ホール演劇ネットワーク事業 報告書

ハイバイ
『ヒッキー・カンクーントルネード』

一般財団法人地域創造

助成事業

一般社団法人全国モーターボート競走施行者協議会

目次

目次	1
はじめに	3
実施要綱	4
事業の流れ	6
事業予算	7
公演概要	8
ツアースケジュール	9
実施データ	
三重	10
豊橋	11
大垣	12
長久手	13
伊丹	14
ひたちなか	15
小田原	16
妙高	17
佐世保	18
茅ヶ崎	19
ちらし	20

一般財団法人地域創造では、地域における創造的で文化的な芸術活動のための環境づくりを目的として、地方公共団体等との密接な連携のもと、全国の地方公共団体や関連の公益法人などが実施する文化・芸術活動に対して財政的な支援を行うほか、財団の自主事業として、研修交流事業、公立文化施設活性化推進、調査研究等などの事業に取り組んでいます。

これらの事業の一環として「公共ホール演劇ネットワーク事業」を実施しています。これは、各地域において、上質な演劇公演と、演劇の手法を活用した地域交流プログラム（学校等でのアウトリーチまたは一般向けのワークショップ）を実施することにより、観客の創出・育成や子どもたちのコミュニケーション能力・想像力・創造力の向上をサポートする事業です。

平成27年度は、ハイバイによる『ヒッキー・カンクーントルネード』（作・演出：岩井秀人）の上演と、地域交流プログラムとしてワークショップ活動等を三重県文化会館（三重県津市）、穂の国とよはし芸術劇場PLAT（愛知県豊橋市）、大垣市スイトピアセンター（岐阜県大垣市）、長久手市文化の家（愛知県長久手市）、伊丹市立演劇ホール（兵庫県伊丹市）、ひたちなか市文化会館（茨城県ひたちなか市）、小田原市民会館（神奈川県小田原市）、妙高市文化ホール（新潟県妙高市）、アルカスSASEBO（長崎県佐世保市）、茅ヶ崎市民文化会館（神奈川県茅ヶ崎市）の10地域で実施しました。ワークショップでは、参加者の実体験をもとに小作品を創るという課題に参加者は楽しみながらも真剣に取り組む姿が印象的でした。

この報告書は、「平成27年度公共ホール演劇ネットワーク事業」において実施した事業内容をまとめたものです。本事業の成果が活かされ、地域のホールが創造的な活動の場となり、ネットワークの形成が活発に行われるようになることを願っております。また、この報告書が地域の公立文化施設の職員や地方公共団体の芸術文化担当者の参考となり、微力ながら公共ホールの運営に役立てられれば幸いです。

結びに、貴重な財源を拠出していただきました一般社団法人全国モーターボート競走施行者協議会をはじめ、本事業の実施にあたりご協力を賜りました全ての関係者の方々に心から厚くお礼申し上げます。

平成28年3月
一般財団法人地域創造

1 趣旨

一般財団法人地域創造（以下「地域創造」という。）は、公共ホールの活性化、情報発信能力の向上を図るとともに、地域の演劇分野における創造的で文化的な芸術活動のための環境づくりに寄与し、あわせて公共ホールスタッフ等の企画・制作能力の向上と創造性豊かな地域づくりに資することを目的として、複数の地方公共団体等が演劇公演を共同・連携して実施することを支援する。

2 対象団体

演劇事業の実施に関心があり、今後も演劇事業に積極的に取り組む意欲を持っている下記の団体を対象とする。

- ① 地方公共団体
- ② 地方自治法第244条の2第3項の規定に基づき指定管理者として指定を受け、公の施設の管理を行う法人その他の団体
- ③ 地域における文化・芸術活動の振興に資することを目的として設立された、公益法人制度改革三法※による特例民法法人、公益財団法人等（②を除く。）のうち、地方公共団体が基本金その他これに準ずるものを出資している法人で地域創造が特に認めたもの

※「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」、「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」及び「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」

3 事業内容

当事業の各参加団体は、次の事業を実施する。

(1) 演劇公演

当該参加団体のある都道府県または市町村内の公立文化施設、その他公演事業を実施するにあたり適当な施設を会場とし、演劇公演（再演作品）を実施する。

なお、公演は原則として有料とし、入場料収入は、開催地の主催団体に各々帰属するものとする。

(2) 地域交流プログラム

地域交流プログラムについては、参加団体の実情を踏まえて、必要に応じて実施するものとし、経費、日程等については参加団体とプレゼンテーションを実施した団体が個別で調整するものとする。

4 地域創造の支援措置

(1) 準備会議の開催

地域創造は、参加が決定した団体を対象に、事業の具体的な流れの確認や予算の検討、実施スケジュールの検討を行うための準備会議を開催する。

(2) 助成金等

① 公演事業に対する助成

地域創造は、公演事業にかかる費用（ホール使用料、現地宣伝費、上演に係る著作権料、現地増員人件費などの現地経費は対象外とする。）の3分の2を助成する。ただし、助成金は、1,500万円を上限とする。

② 準備年度中にかかる費用の負担

地域創造は事業実施のため、準備会議等に要する経費で地域創造が認めるものについて、100万円を上限として負担する。

5 事業実施体制の整備等

(1) 実施体制の整備

参加団体は、参加団体間で協議のうえ、代表となる団体を1団体決定するとともに、事業に最も適した組織づくりを行う。

なお、4(2)の地域創造からの助成金は、原則として代表団体、参加団体で構成される実行委員会またはネットワーク事務局に対して交付する。

また、事業にかかる経費のうち、地域創造からの助成金を除いた部分の負担の配分については、参加団体間の協議事項となる。

(2) 合意書の締結

参加団体は、参加団体間で協議のうえ、本事業実施のために必要な事項((1)の実施体制に関するものも含む。)を定めた「合意書」を締結する。

(3) 代表団体の役割

代表団体は、(2)の合意書締結のとりまとめのほか、ネットワーク事業に必要な会議の開催や収支管理、事業報告及び決算報告を行うこと。

6 損害賠償の免責等

参加団体は不測の事態により事業を中止した場合等の損害の補填として損害保険等に加入すること。また、事業の実施に伴い発生した損害賠償等の責任について、地域創造は責めを負わないものとする。

7 公演クレジット

次のクレジットを基本とする。

主催：開催地の主催団体

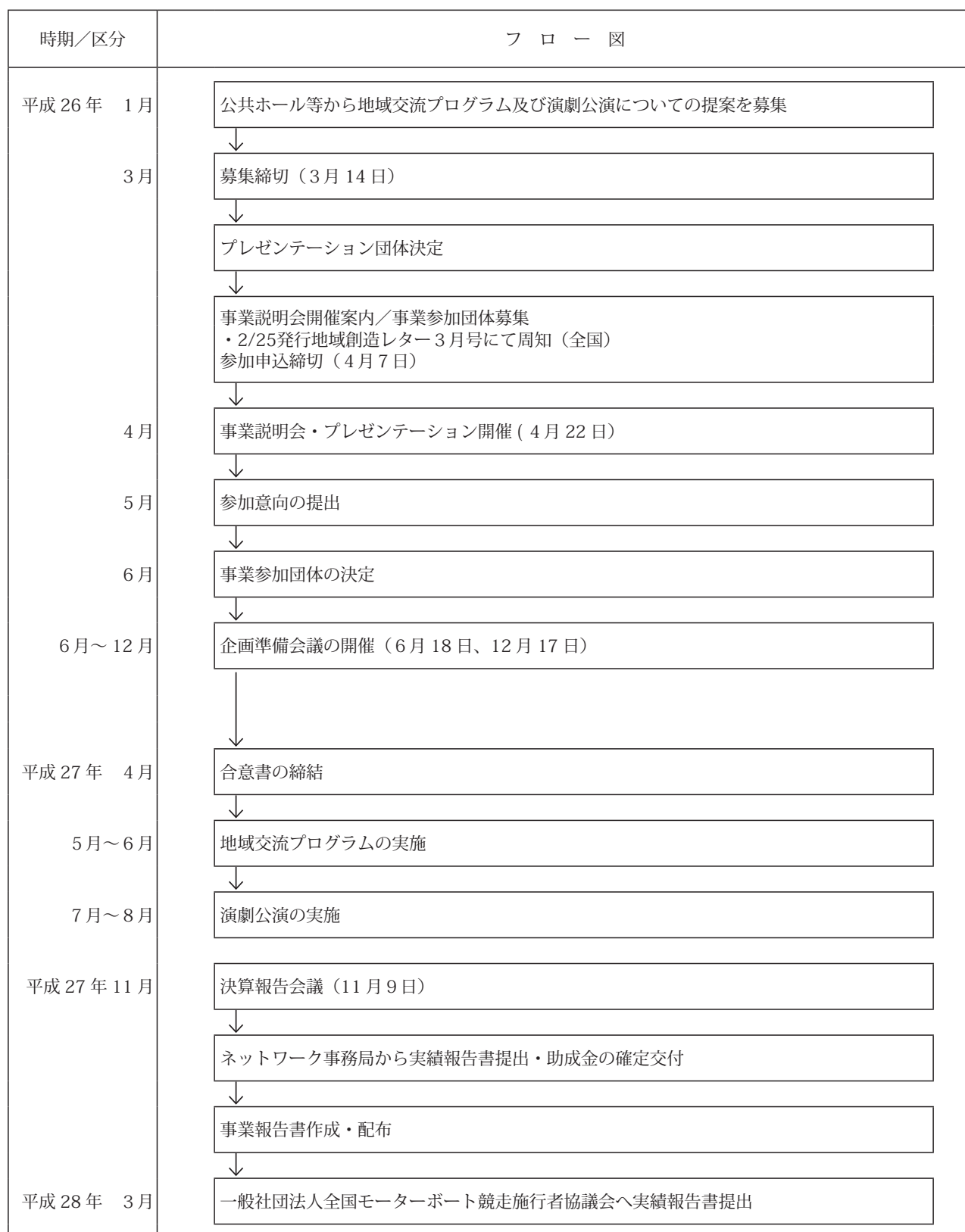
公共ホール演劇ネットワーク事業参加団体：参加の地方公共団体

助成：一般社団法人全国モーターボート競走施行者協議会、(一財)地域創造、公共ホール演劇ネットワーク事業

8 その他

地域創造は、助成金の支払い等の審査にあたって必要な書類を求めることができる。

事業の流れ



事業予算

費 目	金 額	摘 要
文 芸 費	4,376,000	脚本料／演出料／舞台監督料／舞台美術・照明・音響・衣装プラン料
出 演 料	4,514,400	出演料
舞 台 費	4,966,983	大道具・小道具費／衣装費／舞台監督アシスタント料／照明・音響オペ費／照明・音響機材費／運搬費
公 演 費	4,701,552	交通費／宿泊費／日当
制作費等	4,114,008	チラシ・パンフデザイン費／宣伝写真撮影料／ツアー制作人件費／公演保険料／制作雑費
ネットワーク費	221,500	交通費／宿泊費／日当
合 計	22,894,443	
参加館負担金（合計）	7,894,443	
三重	953,607	（3 ステージ）
豊橋	953,604	（3 ステージ）
大垣	748,404	（2 ステージ）
長久手	748,404	（2 ステージ）
伊丹	953,604	（3 ステージ）
ひたちなか	543,204	（1 ステージ）
小田原	748,404	（2 ステージ）
妙高	748,404	（2 ステージ）
佐世保	748,404	（2 ステージ）
茅ヶ崎	748,404	（2 ステージ）
地域創造助成金	15,000,000	（対象経費の2/3、上限1500万円）

ハイバイ

『ヒッキー・カンクーントルネード』公演概要

【作・演出】 岩井秀人

【出 演】 田村健太郎、岡田瑞葉、後藤剛範、平原テツ／チャン・リーメイ

【舞台監督】 谷澤拓巳

【舞台美術】 秋山光洋

【照 明】 松本大介

【音 響】 中村嘉宏

【衣 装】 小松陽佳留

【宣伝美術】 土谷朋子

【宣伝写真】 平岩享

【制 作】 三好佐智子、富田明日香

【作品概要】

2003年ハイバイ旗揚げ時に書かれた岩井秀人の処女作であり、10回目の上演となる人気作。プロレスラーを夢見ているが自宅からは一切出られない引きこもり（ヒッキー）の登美男。妹の綾が唯一の理解者。ある日心配をした母が連れてきた「出張お兄さん」なるカウンセラーもどきの男、圭一に登美男は説得をされるが、あろうことか逆に圭一が、登美男と共に引きこもってしまう。続いてやってきたカウンセラーは、二人を家から外に出すべく、新たな策を練る。果たして、登美男は外に出られるのか。そして何故人は「外」に出た方が良いのか。



撮影：青木司



ツアースケジュール

日程	会場	内容	スタッフ移動	キャスト移動	
6月	29日 月	三重県文化会館	仕込み	東京→三重	東京→三重
	30日 火		仕込み		
7月	1日 水		舞台稽古		
	2日 木		舞台稽古		
	3日 金		①公演 19:00		
	4日 土		②公演 14:00		
	5日 日		③公演 14:00		
	6日 月	穂の国とよはし芸術劇場 PLAT	仕込み	三重→豊橋	三重→豊橋
	7日 火		仕込み		
	8日 水		①公演 19:00		
	9日 木		②公演 14:00 ③公演 19:00		
	10日 金	大垣市サイトピアセンター	仕込み	豊橋→大垣	豊橋→大垣
	11日 土		①公演 18:30		
	12日 日		②公演 14:00	大垣→東京	大垣→東京
	13日 月				
	14日 火	長久手市文化の家	仕込み	東京→長久手	東京→長久手
	15日 水		仕込み		
	16日 木		①公演 19:00		
	17日 金		②公演 19:00		
	18日 土	伊丹市立演劇ホール	仕込み	長久手→伊丹	長久手→伊丹
	19日 日		①公演 19:00		
	20日 月		②公演 14:00 ③公演 18:00		
	21日 火			伊丹→東京	伊丹→東京
	22日 水				
	23日 木				
	24日 金	ひたちなか市文化会館	仕込み	東京→ひたちなか	東京→ひたちなか
	25日 土		仕込み		
	26日 日		①公演 14:00	ひたちなか→東京	ひたちなか→東京
	27日 月				
	28日 火				
	29日 水				
	30日 木	小田原市民会館	仕込み	東京→小田原	東京→小田原
	31日 金		仕込み		
8月	1日 土		①公演 14:00		
	2日 日		②公演 14:00	小田原→東京	小田原→東京
	3日 月				
	4日 火				
	5日 水				
	6日 木	妙高市文化ホール	仕込み	東京→妙高	東京→妙高
	7日 金		仕込み		
	8日 土		①公演 14:00		
	9日 日		②公演 14:00	妙高→東京	妙高→東京
	10日 月				
	19日 水				
	20日 木	アルカス SASEBO	仕込み	東京→佐世保	東京→佐世保
	21日 金		仕込み		
	22日 土		①公演 18:00		
23日 日		②公演 14:00			
24日 月			佐世保→東京	佐世保→東京	
25日 火					
26日 水					
27日 木	茅ヶ崎市民文化会館	仕込み	東京→茅ヶ崎	東京→茅ヶ崎	
28日 金		仕込み			
29日 土		①公演 18:00			
30日 日		②公演 14:00	茅ヶ崎→東京	茅ヶ崎→東京	

■公益財団法人三重県文化振興事業団



■三重県文化会館 小ホール
[所在地]：三重県津市一身田上津部田1234

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]
7月3日（金）・19：00・100人
7月4日（土）・14：00・102人
7月5日（日）・14：00・71人

[地域交流プログラム（実施日・時間・参加人数）]
6月5日（金）・19：00～20：00・60人

[入場料金]
公演：一般 3,000円、25歳以下 1,500円
地域交流プログラム：無料

この事業への参加理由

割安な予算で良質な作品を全国ツアーに乗せることができるため。弊館での劇団公演やプロデュース公演をここ5年続けている劇団ハイバイとタッグを組み、その代表作であり弊館が当初より上演を熱望している本作品を全国ツアーというインパクトある形で発信できる可能性に魅力を感じ、本公演を提案した。弊館がまだ出会っていない劇場で、劇団としてもまだ上演したことの無い土地で、新しい出会いがあることを大いに期待した。

また、地域創造や先進劇場のもつ地域交流プログラムのノウハウを学び、実践する機会とも捉え、これまでやってこなかった形のプログラムを実施することを目指した。

この事業全体を振り返って

地域交流プログラムでは、これまでに何度も実施している「岩井秀人の演劇ワークショップ」にこだわらず、別の企画を検討した。同じ状況の長久手市文化の家さんと協同し、岩井さんシナリオのテレビドラマ上映会とトークイベントを実施した。おそらく演劇をご覧になったことがないであろう客層が多数集まり、そしてそのほとんどが岩井さんのファンになったように思われた。

上演については、東海・関西での公演が多数あり、普段名古屋や関西圏からの来場を多く見込んでいる弊館としては、集客にとっても苦戦した。しかし、来場者の内訳をみると、約2/3が劇団初見であり、さらに約1/3が初めて当館で演劇を観たと回答している。苦戦した甲斐があり、新しい演劇ファンの創出に手ごたえを感じた。

ネットワークとしては、幹事を担当させていただいた。ツアー制作としては10館というボリュームによる合意形成の難しさを感じたが、同時に全国に同志の劇場があることを心強く有り難く思った。

今後の事業展開

本事業で取り組んだような地域交流プログラムを継続的に実施していきたい。地域交流プログラムに参加して下さる方は、その劇団のファンになるのみでなく、劇場ファン・演劇ファンとして定着していきやすい傾向があるように思われる。そうした“地域の演劇ファン”を着実に増やしていきたい。そうすることで、初めて三重に来る劇団でも成功しやすい状況を整え、また新しい劇団と新しい地域交流プログラムを展開するというよい流れを作っていきたいと考える。

劇場間の連携は、直接事業展開に関わるものであれ、日常的な広報協力のような形であれ、継続的に活かしていきたい。今回、劇場が連携して動くことで、全国ツアーを実現していくことも可能であると実感した。そうした全国ツアーにふさわしい良作を、今後も皆さまに紹介できるよう努めたい。

■公益財団法人豊橋文化振興財団



■穂の国とよはし芸術劇場PLAT アートスペース

[所在地]：愛知県豊橋市西小田原町123

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

7月8日（水）・19：00・153人

7月9日（木）・14：00・197人

7月9日（木）・19：00・124人

[地域交流プログラム（実施日・時間・参加人数）]

【演劇WS】6月13日（土）・13：00～17：00・16人

【制作WS】6月13日（土）・18：00～21：00・20人

[入場料金]

公演：一般3,000円、24歳以下1,500円 高校生以下1,000円

地域交流プログラム：【演劇WS】1,000円【制作WS】1,000円

この事業への参加理由

向田邦子賞、岸田國士戯曲賞を受賞している劇作家による作品であり、くり返し再演されている劇団の人気作であるということ。また、分かりやすい内容で中学生から大人まで幅広い世代に受け入れられ、かつ初めて演劇を観る人にもふさわしい作品であるので、優れた演劇を様々な市民に提供できると考え、参加した。

この事業全体を振り返って

公演前のワークショップでは、演劇・制作ともに好評で、参加者それぞれが演劇に対する興味関心が深まり、公演を観に来てもらうきっかけにもなった。これまで当劇場では土、日、祝日に主催公演を実施することが多かったのに対し、今回は平日公演だったが一般2公演平均して8割近い入場者数となった。また、東海圏の参加館が多かったため集客に若干の懸念があったが、幹事館を中心に事前に情報共有してある程度広報などを一括して行えたのがメリットであった。初めてPLATに来たお客さんも一定数おり、20代・30代が4～5割という傾向で、豊橋近郊の新たな客層や若い世代の客層を取り込むことができた。作品もさることながら岩井さんのアフタートークも好評で、劇団や小劇場演劇に興味を持っていただけた。

また、9日昼公演での中学校団体観劇では、劇場に遠い地域の中学校であったこともあり、9割以上が初めての来館、8割以上が初めての舞台観劇であった。中学生ならではの反応で笑いが絶えない部分もありつつ、全体としては集中して観劇していた。鑑賞後のアンケートには様々な等身大の作品解釈や感想があり、7割近くが「演劇に興味を持った」「また劇場に行きたい」との回答を得られ、次世代の観客創出につながる機会となった。

今後の事業展開

当劇場は開館3年目であり、固定の観客層はできつつある状況だが、このような複数の公共劇場と連携したプログラムを実施することで得られるネットワークとノウハウを生かして今後も優れた舞台作品を提供していきたい。そうすることで地域における新たな観客層を創り、劇場の認知度をあげていきたい。また、地域交流プログラムのようなワークショップ、レクチャーを定期的の実施し、舞台芸術や劇場への関心を高めるとともに、人々が集い、交流できる場となるよう努めていく。

■公益財団法人大垣市文化事業団



■大垣市スイトピアセンター 文化ホール

[所在地]：岐阜県大垣市室本町5-51

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

7月11日（土）・18：30・204人

7月12日（日）・14：00・124人

[地域交流プログラム（実施日・時間・参加人数）]

【演劇WS】6月7日（日）・12：30～・16人、17：00～・17人

【制作WS】6月7日（日）・13：30～・12人

[入場料金]

一般：2,500円 U25：1,500円 高校生以下：1,000円

この事業への参加理由

私どもの財団では、これまで演劇事業を実施していなかったわけではありません。しかし、営業に来られた劇団の公演を買い取るという受け身な姿勢でいた為、中央の劇団の情報や次に繋がる劇団との交流が全くありませんでした。

前々回、平成25年度・演劇ネットワーク事業「柿喰う客・ながぐつをはいたねこ」に参加させていただいたことがきっかけで、三重県文化会館、長久手市文化の家など、同じ東海エリアの先進的な施設から様々なことを学ばせていただきました。また、中央で活躍中の劇団を知ることができたため、去年度、柿喰う客の主宰・中屋敷法仁氏が作・演出した市民創作劇の開催へと繋がりました。

今回、本事業へ参加しました理由も、前々回のように引き続き先進的な施設や中央の劇団との交流を図りたいと考えたからです。

この事業全体を振り返って

上記のように、私どもの財団が独力で中央のトップレベルの劇団を招聘することは困難です。そのため、今回演劇ネットワーク事業という形で、中央で活躍中の劇団であるハイバイの公演を実施することができただけでも、大きな成果だと考えております。実際、地元の高校演劇部をはじめ、市民の皆様から「大垣（のような地方）でハイバイが観られるとは思ってもみなかった」との反響がありました。

今回は前々回の演劇ネットワークのように、ハイバイとの縁を次に活かせるような企画の立案までには至っておりません。しかし、今回も前々回同様、東海エリアの先進施設をはじめ、様々な施設の取り組みを知ることができたことは、これからの事業に活かすことができる経験となりました。

今後の事業展開

今回の公演は328人と集客目標とした400人に及びませんでした。しかし、高校演劇部からは約100名と多くの高校生が観劇し、高校生をはじめ演劇に関心がある西濃地域の人々がトップレベルの演劇を観ることができたのは成果としてあげられます。

しかし一方で、中央で活躍中の劇団を知らない人や潜在的に演劇に関心がある人たちに、この劇団の魅力を伝えきれなかったという点で、広報戦略を見直すことが今後の課題として残りました。

今後の事業展開としては、対象別に広報戦術を変えるなどの地元の人々への広報を厚くするのは当然ですが、広報地域を広くし、演劇ネットワークの同エリアの施設で連携した広報（例えば公演日に都合がつかない人を次の施設の公演日を案内する）他、演劇ネットワークの同エリアで公演した劇団を次年度で別の施設で公演するなどで、演劇の土壌を作ることができればと思います。

■長久手市



■長久手市文化の家 風のホール
[所在地]：愛知県長久手市野田農201

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]
7月16日（木）・19：00・141人
7月17日（金）・19：00・108人

[地域交流プログラム（実施日・時間・参加人数）]
6月6日（土）・14：00～15：00・71人

[入場料金]
公演：【前売】一般3,000円、フレンズ会員2,500円、学生1,500円
【当日】一般3,300円、学生1,800円
地域交流プログラム：無料

この事業への参加理由

過去にも当館にて好評を博しているハイバイの公演を、全国ツアーを組むことにより、通常よりも安価に開催することが可能であり、また、地域創造や各地の先進劇場とネットワークを組むことにより、ノウハウなどの共有を図れると考えたため。

また、作品としても、今回の「ヒッキー・カンクーントルネード」は、再演を重ねていて評価の高い同劇団の代表作であり、内容的にも魅力を感じ、過去にもハイバイの公演を開催し好評を得てきた当館としては、ぜひ、参加したいと考えた。

この事業全体を振り返って

地域交流プログラムでは、「岩井秀人の演劇ワークショップ」は過去に数回実施しているため、別の企画を検討していた三重県文化振興事業団と協同し、岩井さんシナリオのテレビドラマ上映会とトークイベントを実施した。今回の本公演の券売にはあまり結びつかなかったが、通常の演劇公演とは違う客層も多く見られたので、演劇に関心の低かったお客さまが、新しい世界を垣間見るきっかけになったと考える。

近隣の会館とネットワークを組むことは、集客の上でデメリットもあるが、広報面などでのメリットも大きかった。最寄りの館の日程が合わなかったお客さまが、他館で観劇するケースも通常のツアーより多かったようで、実際にそういう声を聞いている。

今後の事業展開

今回取り組んだ地域交流プログラムは、これまでのワークショップとは異なり、新たな客層に演劇というジャンルそのものをアピールすることができるものであり、今後の自主事業を企画する上で、大変参考になった。

今後も、先進劇場と連携することにより、アイデアやノウハウを共有し、このように新しい企画のヒントを得て、自館の事業に活かしていきたい。

■公益財団法人伊丹市文化振興財団



■伊丹市立演劇ホール（アイホール） イベントホール

[所在地]：兵庫県伊丹市伊丹2-4-1

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

7月19日（日）・19：00・171人

7月20日（月・祝）・14：00・141人

7月20日（月・祝）・18：00・158人

[地域交流プログラム（実施日・時間・参加人数）]

【演劇WS】6月11日（木）・19：00～22：00・16人

6月12日（金）・19：00～22：00・16人※2日間連続受講

【制作WS】6月11日（木）・19：00～22：00・9人

[入場料金] 一般：3,000円、25歳以下：2,500円

この事業への参加理由

当館では、平成24年度よりハイバイの公演を継続的に開催しており、関西での上演会場として認知されている。しかしながら、岩井秀人さんの代表作である本作はこれまで上演の機会がなく、関西初上演を実現させるべく本事業に参加した。本作が、「引きこもり」という社会問題を取り扱いつつも、シンプルでわかりやすいストーリーであり、コアな演劇ファンだけでなく、演劇を初めて観る地域の人々にも楽しんでいただける良質な舞台作品であることも本事業に参画する理由であった。

また、今後、当館で製作した演劇作品をレパートリーとして多くの地域で上演する機会を得たく、何度も再演を重ねている本作に取り組むことで、レパートリー作品の創作に必要なノウハウを吸収するとともに、全国各地の公共劇場と新たな関係を構築し、今後のネットワークに活かしていきたいと考えた。

この事業全体を振り返って

予算編成、広報宣伝、地域交流プログラム、当日運営などにおける必要な情報を、幹事館を中心に、事前に提供し合えたことで、現場での大きな混乱もなくスムーズに進めることができた。合意を形成していくにあたり、各館の考え方や環境や状況の違いを知ることができ、制作会議やメールなどを通じて、些細なこともひとつひとつ確認をとっていくことの大切さを再認識させられた。反面、広報宣伝については、こちらからもっと積極的に他館に相談し情報交換をすべきだったと反省する部分もあった。

当館公演の制作面においては、前売券購入を促進させるチケット販売戦略や新規プレイガイドの利用、地元ラジオをつかった広報など、具体的なノウハウを改めて見直す機会となり、今回で得たものを今後の自主事業に活かしていきたい。結果、集客に関しては完売の回がでるほど反響があり、多くのお客様にご来場いただけた。特に、新聞各紙に大きく取り上げられたことで、作品内容と同じ境遇の方々が来場されるなど、ハイバイや演劇ファンだけでなく、幅広い層に訴求することができ、新たな観客の創出に繋がったと感じる。地域交流プログラムでは、表現活動をしている若い演劇人が自身のステップアップのために参加していたのが特徴的だった。

今後の事業展開

今回の経験を踏まえ、今後、様々な会場で何度も上演できるようなレパートリー作品の創作を目指したい。また、本事業に参加したことで得た制作ノウハウや、繋がりを持つことができた劇場間のネットワークを活かして、当館が発信側となり、良質な演劇作品を全国に紹介できるよう、事業を展開していきたい。

■公益財団法人ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社



■ひたちなか市文化会館 小ホール

[所在地]：茨城県ひたちなか市青葉町1-1

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

7月26日（日）・14：00・286人

[地域交流プログラム（実施日・時間・参加人数）]

【演劇WS】5月23日（土）・13：00・16人

[入場料金] 前売・当日共

一般2,500円、友の会2,200円、小学生～高校生1,000円

この事業への参加理由

当館では中高年からシニア世代を中心とした表現集団との創作舞台づくりを連携事業として継続実施しており一定の評価が得られている。また、平成25年度の演劇ネットワーク事業参加の際は、親子向けの公演で地域における評判も大変良好なものを得られた。今回はより演劇の好きな方、特に高校生・大学生等の世代に向けて質の高い演劇作品を提供したいと考えた。首都圏では演劇に限らず様々な分野の催しが多々あり、個々が好きな物、観たいものを選択できる環境だが、当地ではそうした状況にないので、評価の得られているカンパニーや作品を、低価で地元へ提供できることに魅力を感じた。負担金の額や作品の規模等についても当館の実情に合致したものであったので、ぜひ取り組みたいと考えた。また、本事業に参加することで他館と共同・連携し、公演事業を実施していくうえでの必要なノウハウを吸収し企画能力向上を図りたいと考えた。

この事業全体を振り返って

当館は参加10館の中で地理的に近い館が少なく、広報宣伝等においていわゆるネットワーク的な手法は取りにくく感じた。また、10館の意見集約・調整等において幹事館に多大な負担をかけてしまったと感じている。予算等の事務的な作業の合意形成の重要性や、各々の地域の環境や状況の違い等、制作として理解しなければならないことをいろいろ学ぶことができた。

しかし、10館という多くのホールと連携できたことで、良質の演劇公演を少ない負担金で実施するという第一の目的が達成できたこと、そして様々な広報宣伝活動を通じて、これまであまり繋がりのなかった近隣の演劇関係者等と密接な繋がりを持てたこと、新たに多くの演劇ファンを獲得できたことなどは本事業を実施した大きな成果であった。何より、ワークショップ参加者や本公演の鑑賞者の評判が大変良かったことは、今後の事業展開にも繋がることと感じられ大変嬉しかった。

今後の事業展開

これまで前述のように中高年からシニア世代を中心とした表現集団との連携事業を実施してきたが、本事業を通じて新たに地域の高校演劇関係者等と強い繋がりを持つことができたので、さらに演劇分野の振興を図るため、今後高校生を中心とした若年層への取り組みを企画したいと考える。例えば、夏休み期間中に高校演劇サマーキャンプ（仮称）を会館との協働事業として開催し、プロの演出家等によるクリニックやワークショップ等を実施し、それに合わせてキャンプ終了後に高校演劇の地区大会を開催、前出の演出家等には審査員を依頼するなどといった案を提案していきたい。

また、高校演劇に限らず、本事業を通じて繋がりを持てた近隣の演劇関係者や様々な表現活動をされている方々に向けても継続して良質な作品や公演を提供していきたい。

■小田原市



■小田原市民会館 大ホール

[所在地]：神奈川県小田原市本町1-5-12

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

8月1日（土）・14：00・109人

8月2日（日）・14：00・97人

[地域交流プログラム（実施日・時間・参加人数）]

【演劇WS】6月17日（水）・18：00～21：30・16人

（その他見学者6名）

[入場料金]

一般 2,500円、高校生以下 1,000円

この事業への参加理由

現在、小田原市が建設計画を進めている「芸術文化創造センター」の完成に先駆けて、質の高い文化事業を行うことで、将来の文化の担い手を育成する目的のもと、若手劇団の中でも特に高い評価を受けるハイバイの公演を上演させていただいた。

小田原にも歴史あるアマチュア劇団や、若い人たちが結成する市民劇団が存在するが、市の文化事業としての演劇公演は数少なく、小田原市民に気鋭の劇団の公演を鑑賞していただくだけでなく、人気の公演のために市外や県内外からも集客を行い、「小田原で文化事業が実施される」ことを周知したい狙いがあった。

また、若い世代の演劇コミュニティを醸成し、なんらかの形で関わる場作りを模索するため、今回の事業に参加させていただいた。

この事業全体を振り返って

現状の施設では、小劇場公演に適したホールがなく、舞台上特設舞台の形式で公演した。舞台上舞台は、雰囲気からとても珍しく、内容もさることながら市民会館の舞台袖・客席などを巻き込んだ演出は、小田原市民にとって見慣れた舞台に新たな価値観を与えてくれた。

神奈川では二箇所で開催があり、お互いに広報協力が出来た良い面と、集客が分散してしまった面があったのではないと思う。特に高校生に対して、主に演劇部顧問を通じてチラシ配布するなど周知に努めたが、集客には至らなかった。間を埋めるアプローチの必要性を感じた。

演劇事業の経験自体が少ない小田原市にとっては、広報・集客・公演準備から本番まで、手をつけるすべてが挑戦であり、ハイバイという素晴らしい素材を頂いて、実のある貴重な事業が実施できた。

今後の事業展開

芸術文化創造センター建設に向けて、文化事業の質・量ともに高めつつ実施を継続していく。センター完成の折には、定期的に演劇公演も実施することが予想されることから、質の高い演劇公演と、市民に向けたワークショップ、アウトリーチが実践できる劇団・アーティストとの繋がりを作って行きたいと考えている。

また、今後に向けて小田原市民会館の歴史を振り返る市民参加型演劇公演の準備に取り掛かる。ワークショップなどを繰り返し行い、地域の中に物語の素材を求めつつ、市民とアーティストとの協働で制作を行っていく。

■公益財団法人妙高文化振興事業団



■妙高市文化ホール 大ホール舞台上特設舞台・客席

[所在地]：新潟県妙高市上町9番2号

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

8月8日（土）・14：00・105人

8月9日（日）・14：00・114人

[地域交流プログラム（実施日・時間・参加人数）]

【演劇WS】6月14日（日）・14：30～18：30・16人

（その他見学者7名）

[入場料金]

公演：一般 2,500円、小学生～高校生 1,000円

演劇WS：一般 1,500円、高校生 500円

この事業への参加理由

定評のある劇作家・演出家による口語劇の名作を、鑑賞機会になかなか恵まれない地域にお届けすることで新たな劇場ファン・演劇ファンを創出するとともに、先進的で専門的な各地の劇場と連携・交流することでさらなる企画制作能力の向上とスキルアップを目指すために参加いたしました。

引きこもりやプロレス等を題材とした特色のある作品のため、既存の演劇ファン以外にも訴求力があり、これまで劇場に縁遠かった地域の皆様にもこの公演をきっかけに劇場に足をお運びいただき良質な本物の舞台芸術をご覧いただく好機であると考えました。

この事業全体を振り返って

【ワークショップ】

著名な劇作家・演出家による滅多にない機会に反響も大きく市外・県外からも多数申し込みがあり、演劇を軸とした地域交流を促進する絶好の契機になった。今後は地域の高校演劇部などに出前する枠なども検討して、将来の地域文化の担い手である若年層の顧客創出にも一層注力したい。

【公演】

各地で再演を繰り返す名作だけに作品自体にすでに圧倒的なパワーがあり、劇場や演劇が初体験の方にも舞台芸術の魅力を十分に堪能していただくことができ、新たな演劇ファン・劇場ファンを獲得することに成功した。

多目的ホールにおける舞台上舞台公演の可能性をさらに実感した反面、他参加館と比較して舞台機構・備品の貧弱さや舞台スタッフ体制の脆弱さを痛感した。

今後の事業展開

地域人口の減少や少子高齢化など困難な課題も多いからこそ、ネットワーク事業を通して得たノウハウと培った連携関係のさらなる構築強化をはかり、安定した演劇関連事業による妙高を拠点とする広域の文化芸術の興隆と交流を目指したい。

■公益財団法人佐世保地域文化事業財団



■アルカスSASEBO イベントホール

[所在地]：長崎県佐世保市三浦町2-3

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

8月22日（土）・18：00・126人

8月23日（日）・14：00・108人

[地域交流プログラム（実施日・時間・参加人数）]

【演劇WS】6月20日（土）・14：00～・15人

6月21日（日）・12：00～・15人

[入場料金]

全席自由 一般3,000円、U-25 2,000円

この事業への参加理由

アルカスSASEBOでは年間事業の大半事業数、クラシックを中心とした音楽事業を行っております。演劇公演を提供できる機会の少ない中、25年度、26年度と続けてこの演劇ネットワーク事業に参加させていただき、質の高い作品を地域に紹介できる実感を持っていたため、再度参加できればと思っていました。また、前回2作品が親子向けの作品だったこともあり、一般向けの作品に挑戦し、新たな客層を開拓したいという思いがありました。

この事業全体を振り返って

事前に開催したワークショップでは、地元演劇人対象、高校演劇部対象の2コマを開催し、演劇に取り組む地元の人たちにとって大きな刺激と財産になったと思います。地元演劇人のコマに参加した劇団HITSTAGEの東京公演に岩井氏がアフタートークゲストで登場いただくことになり、この企画から、縁を繋いでいただいたこと、大変感謝しております。

本公演では、作品の題材である「ひきこもりの青年が主人公」という内容から、教育、福祉、病院関係など、今まで案内をしたことのない新しい営業先を開拓し、劇場の取り組みを広く告知する機会となりました。しかし、当初常設200席のキャパシティを進めていたところを券売が振るわず、急遽105席の仮設客席に切り替えて本番を迎えました。親子向け演目から、一般向け演目に変えたところでの集客増はできず、はっきりと市場を知る結果となりました。

今後の事業展開

演劇については、親子向けや地元製作作品など、観客数を地道に増やしていける演目に取り組みながら、一般向け演目については、作品、チケット価格設定、公演回数など、さらに慎重に検討していきたいと思っています。佐世保には、こども劇場、市民劇場のふたつの演劇鑑賞団体がありますが、いずれの団体も会員は減少傾向にあります。当財団とは協力というよりは、棲み分けの意識で共存してきた経緯がありますが、観劇人口の底上げとして、新たな取り組みを考える時期に来ているように感じます。今回の事業で得たネットワークを活かして、地域での取り組みのヒントを得ていければと思います。

■公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団



■茅ヶ崎市民文化会館 大ホール舞台上舞台

[所在地]：神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎1丁目11番1号

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

8月29日（土）・18：00・179人

8月30日（日）・14：00・159人

[地域交流プログラム（実施日・時間・参加人数）]

【演劇WS】6月18日（木）・17：30～・15人

[入場料金]

全席自由一般2,500円 大学生：1,500円 小～高校生：1,000円

演劇WS：1,000円

この事業への参加理由

会館の自主事業として他のジャンルと比べて公演数が少ない演劇公演でしたので、不安も多く、なかなか事業への参加に繋がりませんでした。今回のハイバイ「ヒッキー・カンクーントルネード」の事業説明会に参加した時に、幹事館の方々の劇団と舞台に対する情熱や、「近所のおばちゃん気軽に来る事のできる舞台を」といった岩井さんの作品に対する愛や想いに、言葉では言い表せないような何かを感じ大変感激しました。また、経験の少ない演劇公演を開催していく上で、何度か参加されている会館や、頻繁に演劇公演を行っている会館との交流を持つ事で、劇場と自身の経験値を積んで行けたらと思い参加させていただきました。

この事業全体を振り返って

茅ヶ崎が全国10都市ツアー最終日でしたので、既に公演を行った劇場で「大成功でした！」等の情報が耳に入ると「果たして自分の所は大丈夫なのだろうか」と不安になりました。しかし、他参加館や劇団の方が親身に相談に乗っていただいた事が心の支えとなりました。

ワークショップは、和やかな雰囲気ながらも皆、岩井さんの話に釘付けになっていて、参加者全員が岩井さんを熱心に見つめる眼差しが大変印象的でした。舞台本公演は、多くのお客様にご来場をいただき、帰り際にお客様の方から「ありがとう」という言葉をかけていただく場面も多く、無事に開催出来た事を実感いたしました。

反省点を挙げればきりが無いのですが、「普段はこういう感じだから」といった自身の思い込みが原因で、各方面に迷惑をかてしまった事が多々ございました。それにもかかわらず、大変気持ちよく接していただいたスタッフや出演者の皆さんの寛大さに改めて感謝いたします。

今後の事業展開

茅ヶ崎では他のジャンルと比べて公演回数が少なかった演劇公演ではございますが、劇団・作品の人気と制作スタッフに助けられ、比較的都内や横浜地区から多くのお客様にご来場をいただきました。さらに、結構地元や隣町の方をはじめ、普段演劇とは全く違うジャンルの練習等で会館をご利用の方にも公演を観てもらい、終演後に温かい言葉をかけられた時に、改めてハイバイ「ヒッキー・カンクーントルネード」の力は凄い！と思いました。

演劇公演を今後地元に着定させて行くには、いろいろな面で難しい部分も多くあるかと思いますが、ワークショップ等も含め、じっくりと地道に着定への道のりを歩いて行きたいと思っています。

平成 27 年度公共ホール演劇ネットワーク事業報告書

編集・発行／一般財団法人地域創造

発行日／平成 28 年 3 月